

別表 J-4 データ及び資料一覧表（平成28年度）

地震研究所の「[公開データベース](#)」もご参照下さい。

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件等	申請期限
2016-D-01 WWSSN 地震記象マイクロフィルム/フィッシュ	○古地震・古津波記録委員会（佐竹健治）	要予約. 用紙等については予約時に問い合わせを欲しい.	随時
2016-D-02 歴史地震記象	○古地震・古津波記録委員会（佐竹健治）	原則としてマイクロフィルムを利用. 原記録は職員立ち合いのもとで利用すること.	随時
2016-D-03 旧測候所報告 ・古新聞切抜き・ 国際地震観測報告 等	○古地震・古津波記録委員会（佐竹健治）	資料室でコピー可.	随時
2016-D-04 観測開発基盤センター地震データ	○観測開発基盤センター長	大学間の取り決めに基づいて利用すること. 詳しくは担当教員に問い合わせること.	随時
2016-D-05 衛星通信等を用いた全国地震観測システムデータ受信利用	○観測開発基盤センター長	「衛星通信地震観測システムデータ受信利用規定」に基づいて申請すること. (様式 S-1)	随時
2016-D-06 国立大学微小地震観測網カタログ(JUNEC)	○地震火山情報センター長	震源データは anonymous FTP で利用可. 検測データは大学間の取り決めに基づいて CD にて提供可. (ただし, 担当教員に利用申請を提出のこと). 論文・報告書等には利用した旨を明記すること.	随時
2016-D-07 浅間, 伊豆大島, 霧島, 富士の火山データ	○火山噴火予知研究センター長	事前に担当教員と打ち合わせること.	随時
2016-D-08 広帯域地震波形データ(1)	○海半球研究観測センター長	特になし.	随時
2016-D-09 広帯域地震波形データ(2)	○鷹野澄	筑波, 白木等の広帯域地震計のための ERIOS システムで収録された広帯域地震波形データ. 観測点ごとに収録期間が異なるので, 利用希望の際は, 事前に担当者に相談すること. データフォーマットは ERIOS フォーマット.	随時
2016-D-10 新 J-array 地震波形データ	○地震火山情報センター長	ホームページから利用可. 論文・報告書等には利用した旨を明記すること.	随時
2016-D-11 1993年日光周辺域合同地震観測データ	○観測開発基盤センター長	1993年合同観測参加者.	随時
2016-D-12 強震記録 (主として駿河湾, 伊豆半島観測網, 足柄観測網のデータ)	○瀧野一起	論文, 報告書等に利用した旨を明記すること. 論文, 報告書等を送付すること.	随時
2016-D-13 歴史地震の古文書及びその解説文	○佐竹健治	特になし. 「東京大学地震研究所図書室特別資料データベース (http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/dl/meta_pub/G0000002erilib)」のうち, コレクション名 02 (-1, 2, 3) の地震史料のオリジナル (複写) と解説文	随時
2016-D-14 地球電磁気データベース	○上嶋誠, 歌田久司	事前に担当教員と打ち合わせること. 論文, 報告書等に利用した旨を明記すること.	随時

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件等	申請期限
2016-D-16 地殻熱流量データセット	○山野誠	特になし.	随時
2016-D-17 日本全国空中写真	○図書室	活断層調査や地震・火山・テクトニクスなどの研究のためであること. 図書職員に申し出て利用すること.	随時
2016-D-18 津波波形画像データ	○古地震・古津波記録委員会 (佐竹健治)	地震研の公開データベースの津波波形画像検索システムより申請して利用すること. 利用資格は地震研究所共同利用に準ずる.	随時
2016-D-19 首都直下地震防災・減災特別プロジェクトデータ	○平田直, 酒井慎一	事前に担当教員と打ち合わせること.	随時
2016-D-20 超伝導重力計観測データ	○今西祐一	事前に担当教員と打ち合わせること. 論文, 報告書等に利用した旨を明記すること.	随時
2016-D-21 都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクトデータ	○平田直, 酒井慎一	事前に担当教員と打ち合わせること.	随時